

2010年8月23日

〔企画展〕 はじめまして、NIPPON。～写真に残る明治時代～ 開催のお知らせ

江戸から明治へと時代が移り、日本人の生活は大きく変わり始めました。開国によりさまざまな西洋文明に日本が出会い始めた一方で、日本の様子が初めて写真により外国人の目に触れた時でもありました。

今回の企画展は、幕末から明治時代中期（1860年代～1900年頃）にかけて、日本が近代国家として躍動を始めた時代の、活気あふれる街並みや生き生きとした庶民生活の様子などを、色鮮やかに残された古写真「横浜写真（ ）」を用いてご紹介するものです。

開国後、初めて日本を訪れた外国人の目に日本はどのように映ったのでしょうか。また遠く離れた異国の人に日本はどのように紹介されたのでしょうか。当時のカメラマンの視線を通して、今から一世紀以上前の日本の風景や街並み、そして日本人の暮らしぶりなどを感じ取っていただければ幸いです。

（ ）「横浜写真」とは、幕末から明治時代中期にかけて、外国人の写真家や写真術を学んだ日本人が、日本各地の風景や街並み、暮らしぶりなどを撮影した写真（白黒写真）に、絵付師が手描きで精緻な彩色を施し、外国人観光客向けのおみやげに作られたものです。横浜が製作の中心だったことから「横浜写真」と呼ばれています。なお、展示資料は、トヨタ自動車株式会社の所蔵品です。

【期間】 2010年9月18日(土)～11月7日(日)

【場所】 産業技術記念館 特別展示室

【内容】（添付チラシをご参照ください）

（1）横浜写真をテーマごとに分類して展示（複製展示もあり）：80～100点予定

風景、名所旧跡



街並み、交通、建物



社会生活



人物



その他



<表紙装丁>



(2) その他関連展示

種々の横浜写真：十数点

表紙装丁（蒔絵、螺鈿、象牙細工）、パノラマ など

同時代の各種カメラ：12～15点

湿板カメラ、乾板カメラ、幻灯器、直射日光式引伸機 など

種々の写真：40～50点

幻灯器用ガラス種板、立体写真、アンプロタイプ湿板写真 など

古書：2点

上野彦馬著「舎密局必携」、柳河春三著「写真鏡図説」

《関連イベント（実演）： 甦るレンズからくり》

・約100年前の幻灯器を使った横浜写真のスライド上映

・約150年前の湿板用箱型カメラあるいはピンホールカメラで試し撮り

〔期間中の土・日・祝日：1日3回（11:10、13:30、15:50 予定）、20分程度〕

【料金】 当館（常設展）の入館料のみでご覧いただけます。

大人 500円、 中・高生 300円、 小学生 200円

65歳以上 無料、 団体割引あり

【産業技術記念館のご案内】

産業技術記念館は、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、次の世代を担う若い人々をはじめ、広く社会にお伝えし、社会の健全な発展に役立てていただくことを目的としてトヨタグループ13社の共同事業により設立、豊田喜一郎の生誕100周年を記念して1994年6月11日に開館しました。2009年4月29日には入館者250万人を達成し、2010年6月、開館16周年を迎えました。

実物本位で分かりやすく展示し、製造に必要な技能を実演や展示物を動かして説明する（動態展示）ほか関連技術・研究開発も合わせて紹介しています。

(1) 所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35

TEL：052-551-6115

FAX：052-551-6199

(2) 開館時間： 9:30～17:00（入館は16:30まで）

*休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）

(3) 入館料： 大人 500円、 中・高生 300円、 小学生 200円

65歳以上 無料、 団体割引あり

(4) ホームページ： <http://www.tcmit.org>

<当企画展に関するお問い合わせ>

広報・営業室 成田、遠藤、加藤

TEL：052-551-6111 / FAX：052-551-6199

画像提供連絡先

E mail: c.kato@tcmit.org